

オーソモレキュラー栄養医学研究所主催
診療現場への導入～実践のためのセミナー

Orthomolecular

Basic Seminar

オーソモレキュラー
ベーシックセミナー

血液検査データの読み方を学ぶ

すべての診療科で導入可能な
栄養アプローチのスタートアップ

このセミナーの
ポイント

～実際の診療プロセスのご紹介～

オーソモレキュラー栄養医学は、血液検査データの生化学的な解釈から始まります。通常の臨床検査の範囲で、患者さまの栄養状態や病態の正確な把握が可能になります。さらに、摂取した栄養素の効果判定や、今後の病態予測を可能とするほか、投薬のみでは対処の困難な原因不明の病態に対してのアプローチも、幅広い診療領域における病態改善症例をご紹介する中で提示します。

【オーソモレキュラー栄養医学 症例】

<37歳 男性> 頭痛とめまい、疲労感などで脳外科などを受診。全ての検査で異常なしと言われる。
栄養解析の検査で見つかった栄養バランスの乱れを補正したところ検査データが改善し、多くの症状が消失して便通や肌の改善も得られた。（出典：みぞぐちクリニック）

検査項目	初回	9ヶ月後	この期間の栄養素
体重	126	99	・ビタミンB群
血圧	185/115	145/85	・ビタミンC
中性脂肪	674	70	・ビタミンE
γGTP	85	25	・不飽和脂肪酸
HbA1C	6.4	4.6	・タンパク質 など

講義内容

- ◆ **オーソモレキュラー栄養医学とは** — 全ては血液検査データからはじまる
- ◆ **鉄代謝の評価** — RBC、Hb、Hctでは何もわからない
- ◆ **タンパク質代謝を評価する** — AST、ALTは肝機能障害を示す項目なのか？
- ◆ **血糖コントロールの評価** — FBSとHbA1cで何がわかるのか？
- ◆ **コレステロールについて** — コレステロールと血清リポタンパクとしてのLDL

講師 溝口 徹

医療法人回生會 みぞぐちクリニック 院長
一般社団法人 オーソモレキュラー栄養医学研究所 代表理事

神奈川県出身。1990年福島県立医大卒業。横浜市立大学付属病院、国立循環器センター勤務を経て、神奈川県藤沢市に溝口クリニック（現：辻堂クリニック）を開院。ペインを中心に、広く内科系疾患の診療にも従事。2000年から一般診療にオーソモレキュラー栄養医学的アプローチを応用し始め、治療が困難な疾患に対する栄養医療を実践し、多くの改善症例を持つ。2003年には日本初の栄養医療専門クリニック「新宿溝口クリニック」を開院。2021年クリニックを東京八重洲に移転し、『みぞぐちクリニック』を開院。毎日の診療とともに、患者や医師向けの講演活動を行っている。
みぞぐちクリニック <https://mizoclinic.tokyo/>



WEB配信
(録画講義)

随時開講

いつでもお申し込みいただけます。

講義時間：4時間

90日間何度でも
視聴可能

- 【対象】 医師・歯科医師
- 【参加費】 22,000円
(税込・テキスト代含む)
- 【視聴期間】 お申し込み後
90日間視聴可能

※テキストはお申し込みから2週間以内に郵送いたします。

【お申し込み方法】

Webサイトからオンラインで
お申し込みください。

<https://www.orthomolecular.jp/doctor/>



お問い合わせ



一般社団法人

オーソモレキュラー栄養医学研究所

〒103-0028 東京都中央区八重洲1-4-10 (事務局)
TEL: 03-6665-6707 FAX: 03-6665-6708
URL: <https://www.orthomolecular.jp>